

導入事例

「声」と「手書き」でデジタルコンテンツを制作
学習者の理解・定着に効果的なアプリケーション

シンクボード®
ThinkBoard®

宮崎県立 宮崎商業高等学校

導入校



宮崎県立宮崎商業高等学校

所在地：宮崎県宮崎市和知川原3丁目24

設立：大正8年（1919年）

校訓：克己求道

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/6003/htdocs/>

宮崎商業高等学校は、宮崎駅から車で15分ほどの場所にある男女共学の全日制商業高校。東側には一級河川大淀川が流れ、自然豊かな環境。商業科・経営情報科・国際経済科・経営科学科の全4学科。

卒業生の約7割が進学し、九州の国公立大学への進学者も多い。また、部活動も活発で、カヌー部が平成23年度全国高校総体で総合優勝を果たすほか、野球部は春2回・夏4回甲子園に出場の強豪。情報発信にも積極的で、公式Facebookページを設け、学校行事や部活動の活躍の様子を公開している。



宮崎県立宮崎商業高等学校

<https://www.facebook.com/miyazakishogyo>



宮崎県立宮崎商業高等学校 教諭

宮崎県高等学校教育研究会商業部会

宮崎県商業教育研究会 事務局

高田 智仁 氏

導入の背景とねらい

産業界が必要とする実力を養成する、商業高校という存在
本来の教育活動をするためにThinkBoardを活用したい

全国では商業高校が減少傾向にあり、商業を学ぶ生徒数が減少している。同時に、産業界が求める能力や技術も多様化し、資格取得第一の教育では対応できない場面も増えているという。

「能力の証明としての資格取得は非常に大切です。しかし、実社会で求められている能力はそれだけではありません。マナーや礼儀作法、コミュニケーション、仕事をする上での想像力や企画力が求められているのです。商業高校では実社会が求めている教育をしなければなりません。資格取得だけで教育活動が終わらないように、実社会が求めている教育活動と資格取得の切り離しを考えなければなりませんでした。そこでThinkBoard（以下、TB）を導入し、資格は自主学習でも取得できるような体制にしたいと考えました」

そう語るのは、宮崎県立宮崎商業高等学校の高田智仁教諭だ。

「資格はとても数が多く、すべてを取得するには相当の時間がかかります。そのため、本来の商業教育ができずにいました。そこで、本校では、学科で必須の資格以外は、自主学習でも取得できるように基盤を整備しました」

TBを導入後、宮商では手始めに関数電卓の使い方を解決するコンテンツを作成した（写真1）。

「生徒の評判は上々でした。こんな小さなところからコンテンツ化して、生徒に見せて、意見を聞くことができる。作るのも簡単で小回りが利くところに可能性を感じました」



中庭のフェニックスの樹

教育ICTとThinkBoard

教育ICTの整備が進む宮商では、通常の授業でもTBコンテンツを使う体制が整っている。

「各教室に校務用のPCと天吊り式のプロジェクターがあります（写真2）。授業では、TBコンテンツを再生してその上に書き込んだり（写真3）、生徒に映像を確認させているあいだに机間指導をすることもあります。チームティーチングの手法を一人でできるので内容の理解・定着にも結びついていると思います」

写真1：ボタンの意味と実際にどのような場面で使うかを丁寧に解説するコンテンツ（約13分）。

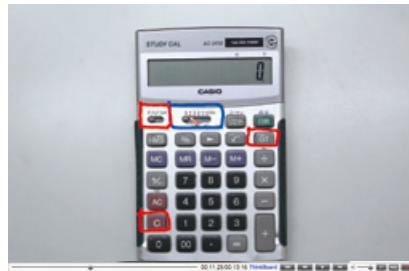


写真2：各教室に備え付けのプロジェクタとホワイトボード。貼付けタイプですぐに授業を開始できる。



写真3：生徒の質問があったら、TBコンテンツを一時停止してペンで解説。生徒の理解度を確認しやすい。



県内の先生がコンテンツを共同制作・共有する基盤づくり 生徒がどこからでもコンテンツを使って勉強できる環境を整えたい

TBコンテンツは簡単に録画ができ、誰でもすぐに制作者になれる。宮崎県高等学校教育研究会商業部会、宮崎県商業教育研究会の事務局も務める高田教諭はこの点に着目し、県内の商業教育の基盤作りへの応用を考えている。

スペシャリストのコンテンツを

「コンテンツ作りは思っていたより簡単で、電卓のコンテンツのように、写真一枚あれば、相当な知識を詰め込むことができます。しかもソフトの導入も簡単ですから、どんな先生でもすぐにコンテンツを作ることができます。だからこそ、本校だけでコンテンツを活用するのではなく、県内の先生方にも見てもらいたいし制作にも挑戦してもらいたい。商業科の先生には実社会が何を必要としているかをよくわかっているスペシャリストがたくさんいらっしゃるから、みんなで作れば、とても充実したコンテンツライブラリができると思います(図1)。『この科目はA高校の先生が作ったコンテンツを使う』『この授業はB高校の先生のコンテンツを再生しながら自分が詳しく解説を加えよう』といったように、県の先生みんなで取り組んで、みんなに有益な仕組みにしたい。一人ですべてを作るのは大変ですから、分担しながら素晴らしいものをつくっていければと思います」 高田教諭はこのように呼びかける。

合宿中に映像授業!?

また、学校の垣根を越えた全県規模のライブラリ化が実現すると、生徒にも大きなメリットがあるという。

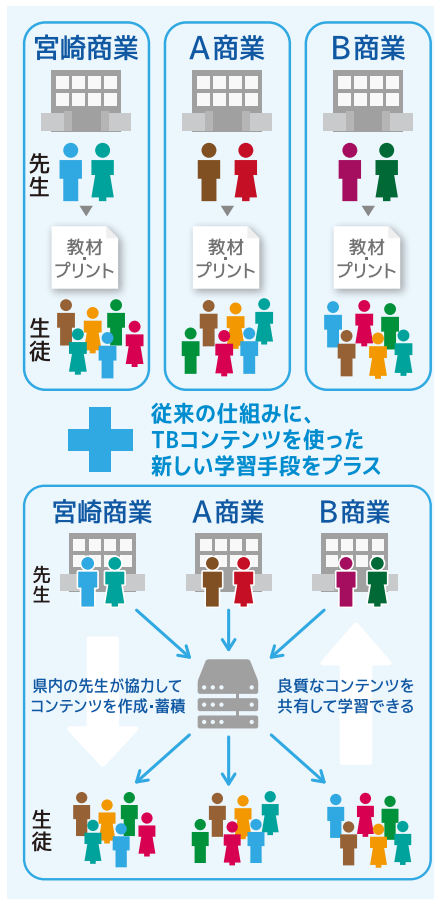
「本校は部活動が盛んで、いくつもの部が全国大会に出るほどなんですが、実は勉強にも同じように力を入れているんです。例えば、部活動の合宿。全国レベルですから厳しい日程なんですが、必ず『勉強タイム』があるんです。そんな時に、たとえ県外の遠い合宿地からでも、スマートフォンやタブレットなどで宮崎のライブラリにアクセスができ、TBコンテンツで授業の復習をしたり、試験対策問題を1問でも多く解ければ、それだけでも価値があることですよ。本校だけでなく県内の生徒みんながどこからでも専門科目のコンテンツを見ることができる環境が実現したら、宮崎は大きく変わります」

地域経済をTBで明るく

宮崎出身の高田教諭は、TBコンテンツで宮崎の将来を明るくしたいと話す。

「本校で商業を学んで、社会に出る。そして社会人としていろいろな知識や技術を身に付けたら、また宮崎に帰ってきてほしいですね。生徒への商業教育は将来の地域活性化のためでもあります。これからも生徒のために良質なコンテンツを作っていきたいですね」

図1：高田先生が考える学習基盤のイメージ



カヌー部は全国トップの実力。大淀川にはカヌーの発着場もある。



機能的に整備されたパソコンルーム。生徒がここからライブラリにアクセスできる日も遠くはない。



※この事例紹介の内容は2013年5月のものです。

総販売元

Zetta ゼッタリンクス株式会社

〒116-0013

東京都荒川区西日暮里5-14-4 KYビル 5階/6階
Tel. 03-5615-3761 Fax. 03-5615-3762

Microsoft
エデュケーション
PARTNER



www.zettalinx.co.jp
linx_sales@zetta.co.jp

■大阪営業所

〒532-0011

大阪府大阪市淀川区西中島3-18-9 新大阪日大ビル5階501号
Tel. 06-6195-3901 | Fax. 06-6195-3902

■福岡オフィス

〒810-0042

福岡県福岡市中央区赤坂1-14-22 センチュリー赤坂門ビル6階B-4号室
Tel. 092-707-0356 | Fax. 092-707-0357

■仙台オフィス(株式会社データベーステクノロジー内)

〒980-0021

宮城県仙台市青葉区中央2-7-30 角川ビル215
Tel. 022-349-5659

●記載されている法人名、団体名および商品名などは、商標または登録商標です。

●ThinkBoard 各製品の仕様は予告なく変更する場合があります。最新情報は左記 WEB サイトをご確認いただくか、事前にお問い合わせ下さい。

●この事例紹介で使用している画像や写真には開発中および一部加工を加えたものを含みます。

開発元

kjs 株式会社 教育情報サービス

〒880-0001

宮崎県宮崎市橘通西3-10-36 ニシムラビル6階
Tel. 0985-35-7851 Fax. 0985-35-7852
www.e-kjs.jp